

公益信託石津俊記念奨学基金 2020年度 奨学生募集要項（最終募集）

2020年度は、つぎの要項により奨学生を募集いたします。なお、当基金の給付は2021年度で終了の予定です。

1. 趣旨	この公益信託は、生前医学界に尽くされた亡夫石津俊氏の遺思を継ぎ、学業優秀でありながら経済的理由から修学困難な日本国内の医学系大学院生に対し奨学金を給付し、もって社会有用な人材を育成することを目的とし、妻石津勝江氏の遺言により設定されました。
2. 応募資格	①申請時点で医学系大学院の3年次に在籍し、修学困難な経済状況にある者 ・博士前期課程（2年）・博士後期課程（3年）設置大学院：後期課程1年次 ・修士課程（2年）、博士前期課程（2年）の設置のない一貫制大学院：博士課程3年次 ・博士前期課程（2年）との接続がない後期3年博士課程設置大学院：後期課程1年次 ・学部（6年）に接続する4年制博士課程設置大学院：博士課程3年次 ②日本学生支援機構奨学金以外の併給不可
3. 募集対象校	東日本（含む富山、静岡県以東）に所在する別紙の37校
4. 採用人数	5名
5. 支給金額	月額10万円（年額120万円）（返還不要）
6. 支給期間	2020年4月から原則2年間
7. 応募手続	応募者は、次の書類を大学院の奨学金担当部署を通じてこの公益信託の事務局に提出して下さい。尚、記入不備等がありますと、選考対象外となりますので、ご注意下さい。（応募書類は返却いたしません） (1) 奨学生願書 研究テーマ及び概要、研究の進行状況 (2) 奨学生推薦書（大学院の指導（准）教授及び研究科長による。 但し、1教員1名の推薦に限る。） ※以上2点については本状添付の用紙を使用 (3) 大学院在学証明書（原本を提出してください。（コピー不可）） (4) 成績証明書 大学院1、2年次の成績証明書を提出してください。（コピー不可） ・博士前期課程（2年）・博士後期課程（3年）設置大学院：前期課程1,2年次 ・修士課程（2年）、博士前期課程（2年）の設置のない一貫制大学院：博士課程1,2年次 ・博士前期課程（2年）との接続がない後期3年博士課程設置大学院の場合：直近2年間 ・学部（6年）に接続する4年制博士課程設置大学院の場合：博士課程1,2年次
8. 申込期日	2020年4月1日（水）～2020年5月11日（月）（消印有効）
9. 選考方法及び選考結果の通知	選考は、この公益信託の運営委員会で行ないます。選考結果については、7月中旬頃に、この公益信託の事務局から奨学金関係窓口者宛に通知します。
10. 奨学金の支給	奨学金は、原則として7月、10月、1月及び3月にそれぞれ3ヵ月分を奨学生があらかじめ指定した金融機関の本人口座あて振込みます。
11. 報告義務等	奨学生に採用された大学院生は、毎年4月末日までに生活状況報告書を（研究の進行状況を含む）提出していただきます。 提出のない場合は、支給停止または奨学金返還の対象となります。 また採用学生には、現在編集中の当基金記念誌に感謝文を執筆頂く予定です。 尚、奨学金受給中に論文を発表する場合には、「この研究は、公益信託石津俊記念奨学基金より助成を受けた」旨を必ず記載してください。 （英文の場合は、「Ishizu Shun Memorial Scholarship」）

【申請書の提出先・照会先】

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ
公益信託石津俊記念奨学基金 申請口

TEL 03-5232-8910（受付：平日9時～17時） FAX 03-5232-8919

（※）公益信託とは

個人の方が公益活動のために財産を提供しようという場合や、法人が利益の一部を社会に還元しようという場合などに、信託銀行に財産を信託し、信託銀行は公益信託契約で定められた公益目的に従ってその財産を管理・運用し、公益活動を行う制度です。

公益信託石津俊記念奨学基金奨学生願書

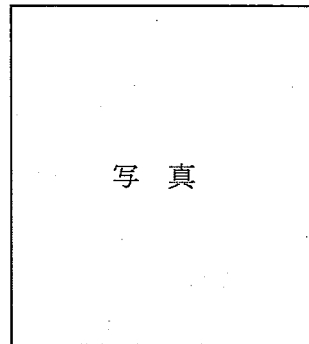
年 月 日

公益信託石津俊記念奨学基金

受託者 三井住友信託銀行株式会社 御中

住 所 _____

氏一名 _____ 印



このたび貴奨学基金の奨学生として採用していただきたく申請いたします。

この申請に記載する事項（健康状態に関する事項を含みます）は、奨学金の支給対象者の選考等、運営に必要な範囲で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、学校等の情報が、主務官庁へ提供されることについて、同意のうえ応募します。

私は、後段に記載の「反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意」に記載の内容を了承します。

申請者	ふりがな				西暦 年 月 日生
	氏名				男・女
	現住所	〒 _____			持家・親同居・下宿・ 賃貸アパート・寄宿舍・ その他()
		TEL	()		
	大学院	大学大学院 医学研究科			専攻
	入学年月	平成 年 月			
学歴	学校区分	学校名・学部	専攻学科	入学・卒業年次	
	最終大学			入学： 年 月	卒業： 年 月
	最終大学院			入学： 年 月	卒業： 年 月
家族に関する事項	氏名	本人との続柄	年齢	勤務先又は学校名	現住所
		父			
		母			
		配偶者			
申請者の健康状態		強 健 ・ 普 通 ・ 要 注 意			

経済状況	本人の収入(年収ベース)	万円	支出(年間)	万円
	内訳(年収ベース)			
	本人収入(アルバイト等)	万円	生活費	万円
	奨学金()	万円	住宅費	万円
	仕送り	万円	授業料	万円
		その他()	万円	

奨学金希望理由(以下具体的に記入する)

将来の予定

奨学生推薦書

被推薦者氏名	
大 学 院	大学大学院 医学研究科 専 攻 年次

推薦理由

年 月 日

公益信託石津俊記念奨学基金

受託者 三井住友信託銀行株式会社 御中

推薦者

①指導教授 職 名
(指導准教授) 氏 名

印

②研究科長 職 名
氏 名

印

奨学生関係窓口(選考結果等送付先)

〒 - TEL ()

住 所 _____

大学部署名 _____

家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____										
	学籍番号						性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)		
	フリガナ											
	氏名						家族住所	〒 _____ TEL (_____)				
家 族 及 び 所 得	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額			
		父				年		万円	万円			
	母					年		万円	万円			
	父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)											
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)											
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
	別居者に 家計支持者に ×印	就学者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額		
本人					筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円				
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円				
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円				
家庭の 特殊事情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がいる世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()			万円				
	その他											
本人の 状況	家庭からの給付	月額 (千円)					認 定					
	アルバイト	月額 (千円) 内容 ()					総収入金額	① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()					必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()					特別控除額	③ 万円			
	その他の収入	月額 (千円) 内容 ()					総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学業 成績	評価	高等学校	5	4	3	2	1	平均値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数							家計充足率		⑥=④÷⑤×100		

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。